

第148回研究倫理委員会議事録要旨

日時： 2016年2月20日（土）（13:00～15:00）

場所： 塩野義製薬株式会社 梅田分室 会議室ギャラクシー

出席者：〔倫理審査委員〕 小林真一委員長、鳥飼勝隆委員、竹村基彦委員、藤本早苗委員、岡本千明委員、進藤千絵委員、巻秀樹委員、森田敦委員、大川友之委員、金津卓史委員（順不同）

〔事務局員〕 蓮哲昭、大島五紀（記録者）

欠席：〔倫理審査委員〕 梅山光法副委員長

内容：

委員会議事に先立ち、塩野義製薬研究倫理委員会におけるES細胞使用研究の審査及び関連する指針の概要について、事務局より資料を用いて説明を行い、本委員への教育を実施した。委員会を欠席した梅山光法副委員長に対しては、後日、教育資料を回覧することにより、教育が実施された。

1. 報告事項

1.1 指摘事項報告

2件

1.2 終了報告

1件

研究課題名	試料・情報	研究結果
同一症例由来の組織切片とRNAを用いた癌抗原の発現解析	市販の同一癌患者由来の癌組織切片及び癌組織から抽出したRNA	研究実施計画書に基づいて研究を実施し、研究目的を達成した。

1.1及び1.2の報告は出席委員全員一致で了承された。

2. 審議事項

2.1 研究倫理委員会審査規程及びヒトES細胞の使用に関する規程の改訂について

【審議対象】

前回（第147回）委員会での議論を受けて、追記・修正を行った「研究倫理委員会審査規程案」及び、「ヒトES細胞の使用に関する規程案」の改定内容

【審議内容】

- ・ 「研究倫理委員会審査規程案」について、文言の修正等、軽微な修正が必要との指摘
- ・ 「ヒトES細胞の使用に関する規程案」について、時系列に従った研究機関の長の承認と文部科学省への申請と受理の手続きの流れが理解できる様に、修正が必要との指摘

【審議結果】

事務局が再度修正案を作成し、持ち回り審議により、委員会の承認を得る

以上